

フットーク

このコーナーは、皆さんで作っていただくコーナーです。日ごろ感じていること、体験したことなどを自由に発言していただくため、題名は特に定めていません。次回の方は、執筆者の紹介で登場していただきます。

感謝



いしざか 石坂 耀一郎さん
よういちろう
田原

原稿の提出日が日一日と迫る中、今日こそはとペンを取り、机に向かってみましたが、子どものころから作文や文章を書くのが苦手な自分で、何を書いてよいやら悩んだ末に自分の子どものころを振り返ってみました。

私は昭和20年終戦の直前の生まれです。食料も物資も十分でない日本中が苦しい時代でしたが、その状況は地域の人たちも一緒でしたから、生活が苦しいとか貧しいとか気付かず、近所の悪ガキたちと野山を夜暗くなるまで遊んでいました。

当時、私は親父から、風呂沸かしと馬のハミ(えさ)を作ることを言いつかつていました。遊びに夢中で忘れようものなら怒られ殴られ、「夕飯は食わせん」と戸外に放り出されることも度々で、夜、家に入らずに外で泣いていると、母がその度、麦飯のおにぎりを親父に内緒で食べさせてくれたことを思い出します。

小学4年生の時、今の自分の人間形成を左右したであろう忘れることができない出来事がありました。こんな時代でしたから親からは小遣いも貰えず、毎月学校に納める学級費を友達と2人で使い、翌月は友だちの学級費を使い込んでしまいました。2か月ほどして、クラス担任の矢野薫先生が私たち2人を呼んで、「お前たちは校納費はどうした。家からは貰ったんか」「ハイ」「お前たちが使ったんか」「ハイ」「何に使ったんか。家の人に知らせたら家から追い出されるぞ!」今回は先生が出しとくから2度とこんなことをしたら承知せんぞ!!と、ゲンコツで頭を叩かれ、怒られ職員室に2時間ほど立たされました。他の先生方からは、どんな悪さをしたんだと言われましたが、あの時の矢野先生の一喝がなかったらと、今は懐かしく有り難く思っています。そのことが小学校を卒業しても心残りで、中学生になって、何百円だったか返しに行くと、先生は当時のことをよく覚えておいでで、とっても喜んでおられました。今の自分が横道にそれず、一人の人間として人並みの生活ができるのも厳しかった親父、優しくった母、厳しくもあり優しくった矢野先生方のお陰、だと思ひ、感謝感謝の毎日を送っています。

次回は、市ノ後団地の杉野武(すきのたけ)さんに登場していただきます。



がんばれ!! ロアッソ熊本!

■ J2リーグ戦が再開

- 第8節(4/23)ロアッソ熊本 2-0 FC岐阜
第9節(4/30)ロアッソ熊本 0-1 ザスパ草津
第10節(5/4)ロアッソ熊本 0-0 ギラヴァンツ北九州
第11節(5/8)ロアッソ熊本 1-0 コンサドーレ札幌
第12節(5/14)ロアッソ熊本 0-0 水戸ホーリーホック

■ J2リーグ戦 ホームゲーム

- 第16節: 6月12日(日)19時 ロアッソ熊本 vs FC東京(KKWING)
第18節: 6月25日(土)19時 ロアッソ熊本 vs 愛媛FC(KKWING)
第19節: 7月2日(土)19時 ロアッソ熊本 vs サガン鳥栖(KKWING)

チケットプレゼント 広報クイズ全問正解者の中から5組10人に、J2リーグ第21節:ロアッソ熊本 vs カターレ富山(7/17)のA席チケットをプレゼント!!

前山拓也選手、2011年JFA・Jリーグ特別指定選手として承認

●前山 拓也(まえやま たくや)選手
【ポジション/背番号】 DF/33
【生年月日】 1991年10月14日(19歳)
【身長/体重】 178cm/68kg 【出身】 佐賀県
【所属歴】 FC伊万里ファイターズ~啓成中学校サッカー部~佐賀東高校サッカー部~九州産業大学学生会体育会サッカー部(2学年在学中)
【コメント】 このたび、特別指定選手としてロアッソ熊本でプレーさせてもらえるチャンスを頂き大変うれしく思います。これから努力を怠らず、より日々のトレーニングに打ち込んでいきます。少しでもチームに貢献できるように頑張ります。応援よろしくお願いします。

【JFA・Jリーグ特別指定選手とは】
サッカー選手として成長する年代に、種別や連盟の垣根を越え、現在の所属チーム登録のまま、Jリーグ等の試合への出場を許された選手。

ロアッソ熊本に関するお問い合わせは、(株)アスリートクラブ熊本 ☎ 283-1200